

吾輩は猫である。名前はまだ無い。
どこで生まれたかとうんと見当がつかぬ。何で
も薄暗いじめじめした所でニヤーニヤー泣い
ていた事だけは記憶している。吾輩はここで
始めて人間というのを見た。しかもあとで
聞くとそれは書生という人間中で一番獰悪な
種族であったそうだと。この書生というのば時
我々を捕えて煮て食うという話である。しか
しその当時は何という考もなかったから別段
恐しいとも思わなかった。

「吾輩は猫である」夏目漱石